

# 墨田清掃工場だより

## 第49号

発行日 令和3年3月29日  
発行者 東京二十三区清掃一部事務組合 墨田清掃工場  
〒131-0042 墨田区東墨田一丁目10番23号  
TEL 03-3613-5311 FAX 03-5247-5389  
HP <https://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp>



印刷物登録  
令和2年度第114号

### ごみ計量機の定期検査を受けました



検査用の重りをごみ計量機に乗せています

清掃工場に設置されているごみ計量機は、2年に1回定期検査を行う必要があります。墨田清掃工場では、令和3年1月に定期検査を実施し、合格しました。

検査には「基準分銅」という重りを使います。1トンの基準分銅を1つずつごみ計量機に乗せ、法律で定められている基準を満たしているか確認をします。

ごみ計量機が正しく作動しないと、ごみの受入れができません。清掃工場が安定稼働するために、焼却炉以外の設備も定期的にメンテナンスしています。

### 清掃工場はごみを燃やすだけではない！熱を有効利用して発電しています

清掃工場は、24時間休むことなくごみを燃やしています。ごみを燃やす際に発生する熱で蒸気を発生させ、発電や熱供給を行っています。

当工場の発電能力は13,000kWで、家庭で使用する電気約30,000世帯分を賅える能力を持っています。発電した電気は工場内で使用し、余剰電力は売却して小学校などで有効利用されています。

近隣にある「すみだスポーツ健康センター」へ温水による熱供給をしています。

写真はタービンロータといって、蒸気エネルギーを電力に変換する装置です。通常は設備内に納められているため、定期的に関外に取り出し、点検を行っています。



タービンロータの点検中

## ①空間放射線量率測定結果

単位：μSv/h

測定日	敷地境界				
	東	西	南	北	※
令和2年7月1日	0.07	0.06	0.05	0.07	0.05
令和2年8月5日	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07
令和2年9月2日	0.06	0.06	0.05	0.05	0.06
令和2年10月7日	0.07	0.07	0.05	0.07	0.06
令和2年11月4日	0.08	0.07	0.06	0.07	0.06
令和2年12月2日	0.07	0.05	0.06	0.07	0.06

- 測定値は、地表1mの高さで測定した値です。
  - 測定器：エネルギー補償型シンチレーション式サーベイメータ
  - 測定方法：「放射能濃度等測定方法ガイドライン（環境省）」（指示値を5回読み取った平均値）
- 測定値は、気象条件等により変化します。
- ※は、灰処理設備から最も離れた地点です。

## ②放射能濃度測定結果

測定項目	試料採取日	単位	放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計
主灰	12/11	Bq/kg	不検出 (<16)	15	15
飛灰	12/11		不検出 (<16)	104	104
排ガス	ろ紙	Bq/m <sup>3</sup> N	不検出 (<0.21)	不検出 (<0.16)	不検出
	捕集水		不検出 (<0.58)	不検出 (<0.55)	不検出

なお放射能測定結果等は、清掃一組ホームページで定期的に公表しています。ホームページも併せてご覧ください。

## ③排ガス調査結果

調査年月日：令和2年12月14日

調査項目	基準値		調査値	単位
	法律	協定書		
ばいじん	0.08	0.02	不検出 (注2)	g/m <sup>3</sup> N (注1)
硫黄酸化物	30	20	不検出 (注2)	ppm (注4)
窒素酸化物	84	60	34	ppm (注4)
塩化水素	430	15	不検出 (注2)	ppm (注4)
水銀	50	—	1.1	μg/m <sup>3</sup> N
ダイオキシン類	1	—	0.00000053	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N (注3)

- 注1) m<sup>3</sup>N (ノルマル立方メートル)は0℃、1気圧の標準状態における気体の体積を表します。  
 注2) 不検出とは定量下限値未満を表します。ただし、全水銀は環境省が提示した表記方法に則り、定量下限値未満検出下限値以上の数値は括弧書きで示し、検出下限値未満を「不検出」とします。  
 注3) ng (ナノグラム)は10億分の1g。TEQはダイオキシン類の毒性を2, 3, 7, 8-四塩化ジベンゾ-p-ダイオキシンに換算した値を表します。  
 注4) ppmは100万分の1の割合を表します。

## 墨田区長の工場訪問

毎年、墨田区長が年末のご挨拶に来場いただいております。温かな労いの言葉をいただき、工場職員は来年も引き続き安全で安定的な操業が行えるよう、気持ちを引き締めています。

今後も墨田清掃工場と墨田区で連携を深めながら、円滑な清掃事業の推進に努めてまいります。



工場にて挨拶される墨田区長